

「発達障害に関する最近の取組み(健康管理やバリアフリーの推進)について」 アンケート結果まとめ

Q1. あなたのご所属について、当てはまるものをチェックしてください。

当事者	3(3.5%)
保護者	28(32.9%)
一般	6(7.1%)
福祉関係	21(24.7%)
教育関係	17(20%)
医療関係	8(9.4%)
保健関係	2(2.4%)
保育関係	0(0%)

Q2. 今回のオンライン式講演会にご参加いただいた理由にチェックしてください。

聞きたい講師だから	10(11.8%)
発達障害に関心があるから	56(65.9%)
講演会の案内が来たから	15(17.6%)
支援者・友人・知人に誘われたから	2(2.4%)
その他(最近の障害者支援の気づきを学びたかったから ほか)	2(2.4%)

Q3. 今回のオンライン式講演会はいかがでしたか。

参考になった	61(71.8%)
やや参考になった	19(22.4%)
どちらでもない	1(1.2%)
あまり参考にならなかった	4(4.7%)
参考にならなかった	0(0%)

Q4. 「オンライン式講演会」に対して、Q3.と回答した理由を教えてください。

- ・タイトルごとにサラッとお話をいただきましたが、それぞれ内容に深みがあるので、盛り沢山の感覚が大きかったです。
- ・日誌先生が、もっと知っておけばよかったことをテーマにお話ししてくださり大変参考になりました。
学校現場では、在籍している学生への支援が中心になるので、卒業後の子どもたちに必要な支援や、健康上の課題等について知ることができました。知らないことだらけだなと反省しました。
- ・講師の先生の話し方がゆっくりで、スライドを次々に切り替える場面が少ないので、聞きやすかったです。
聞き逃した場合も映像を巻き戻して確認することができたので、快適に聴講できました。
避難所における発達障害者の支援方法の実際や、高齢の発達障害者が抱える未解決の課題についてはよく知らなかったため、貴重な学習の機会を得ることができました。
- ・とても詳しく説明して下さり良かったです。有り難うございました。
- ・優しい語り口調で、専門知識がなくても分かりやすくて良かった
- ・大人になるとどうなっていくのか、どんなことで困るのか、どんなことで救われると思うのか、知識がなかったのですが、視聴させていただいて少しイメージが湧いたからです。
- ・認知症についてとても参考になった

- ・集中して視聴することができ、ありがたかった。特に高齢期の支援が課題になっているので、参考になりました。
- ・高齢期の発達障害者に関する情報や知的障害者の認知症症状についての情報が参考になりました。
- ・認知症・健康状態のお話を聞き、40歳過ぎて、急にイライラが目立って作業所に通うのを渋る人への支援の視点がわかり、とても参考になりました。
- ・発達障害に対する世の中の経緯や動向についての理解が深まった。また、高齢化や健康の問題に対する注意を喚起してもらえた。
- ・健康管理について等、親がいなくなった後の課題を知ることができた。
- ・知的障害者の健康状態について、非常に興味深く拝見しました。
- ・健康管理の大切さについてなど、知ることができて良かった。
- ・高齢期の発達障害者に関わる情報や、知的障害者の認知症の症状の気づきなど、初めて聞きました。
- ・特に幼少期から病院や治療、検査等に慣れておくことの重要性について。
- ・高齢期の発達・知的障害者の健康状態について知識がありませんでした。とても勉強になりました。
今後は若年者であっても将来の健康等についても念頭においた支援を考えていく必要があると思いました。
- ・発達障害の人や知的障害の人の高齢期の話は初めて聞いた内容だったから。
- ・コミュニケーションハンドブックの中のツールやアプリなどが知れた。
- ・髪を切る時の配慮など、必要だが意外と知らないお話を聞くことができた。
- ・和歌山県内において成人期以降の作業所に通所されている方の支援について、研究活動等を通じて実践していきたいと考えているため。
- ・バリアフリーの空港やショッピングセンターでの対応は知らなかったのと、災害時での困り事の対応など、良かったです。また高齢者発達障害の傾向？なども参考になりました。
- ・被災時の事まで考えていなかったので参考になりました
- ・発達障害者に関するバリアフリーについて知れたため
- ・大規模災害時の具体的な対応や発達障害者支援センターがどのような役割を果たすのか理解できた。
- ・震災時の状況や支援など、初めて聞く内容があったから。
- ・知らないことが多く、たくさん学べたので大変良かったです。
- ・社会での支援の広がり、高齢期の課題と対応、仲間のことなど、今まで伺ったことがない内容で、大変勉強になりました。
- ・発達障害の方への関わり方をどうすれば良いのか参考になりました。
- ・発達障がい者の災害時や青年期以降の実際の情報を得ることができたため。
- ・改めて発達障害について理解し、支援を考えることができた。
- ・発達障害や知的障害の方の対応の仕方について、具体例による説明があったため
- ・普段の研修とは少し違った切り口でお話を頂けたと思います。
- ・発達障害に対する世間の在り方や今後について、どう変化してきたかしていくのが参考になりました。

Q5. 視聴時間はいかがでしたか。

長い	10(11.8%)
適当	74(87.1%)
短い	1(1.2%)

Q6. Q5で「適当」以外を選択された方は、視聴時間はどの程度が適当と思われますか。

2時間以上	1(6.3%)
90分以上	5(31.3%)
1時間程度	7(43.8%)
30分程度	3(18.8%)
30分以内	0(0%)

Q7. 今回のテーマと内容について、ご感想をお聞かせください。

- ・40歳代以降にもてんかんの発作が出る可能性があるというのは知っておいて良かったと思いました。
- ・高齢期の発達障害者や知的障害者の方々の健康状態や精神状況についての情報を知ることができ良かったと思います。
- ・知的障害やダウン症の方が一般の方よりも早く認知症になることを初めて知りました。今担任している子どもが高学年にさしかかり、進路のことも考えています。将来的に、この子がどんな生活をするようになるのか、より豊かに、毎日楽しんで生活できるようにするためにはどんな進路がいいのか、考えています。今日教えていただいたことを参考に、本人や保護者の方ともしっかり話し合っ進めていけたらと思います。ありがとうございました。
- ・知的障がい者の認知症症状の気付きについて、行動の変化を具体的に挙げていただいていたいて、大変分かりやすく参考になりました。
- ・今まで聞いたことがない情報があり、大変参考になりました。早い時期から認知症になる可能性があるなど、親である自分と同時期に認知症になる可能性があるのかも、と不安もありますが、知っていることは大きいです。
- ・障がい者の青年期以降の様子や周囲の課題について知ることができた。学校現場でも将来を見通した支援の在り方をさらに考えていきたい。
- ・発達障害と認知症の関係についてという新しいテーマについて知れてよかったです。
- ・ライフスパン全体にわたる支援という視野の必要性を感じた。
- ・歳を重ねて行くにつれてのサポートがいろいろ知れたので良かったです。
- ・案外見落としがちな健康管理などに関する内容で非常に参考になった。
- ・医療に関する話がとても今後の参考になった。
- ・知的障害者の健康状態や認知症の気づき、行動の変化の部分が詳しくて良かったです。
- ・認知症の気づきについて、最近認知症だと診断された姑ですが、元々の特性なのか認知症なのか本当に迷いました。健康管理や仲間の力にも思うところですが、周りの人達に支えられてこそだと感じました
- ・発達障害の人の高齢期では健常の人より早く認知症や目耳の老化の症状が現れることを知った。自分で伝えられることが少ないので、普段のその人の状態を観察して把握しておいて、支援者が気づくことが大事であることや、健康管理のため、いざという時のために、普段から医療にかかしておくことが大事であることを学んだ。
- ・最近の研究や動きなどについて知れてよかった。スマイルカットなどは、もっと広まればよいなと思った。
- ・バリアフリー面で、本人が伝えられない、困り事などへの対応面が参考になりました。
- ・発達障害者の感覚過敏により、今まで想像した事の無い、子育てや受診について、新たな視点がありました。
- ・感覚過敏に対するバリアフリーや、高齢化についてなど身近な情報が得られて良かった。報道で得られなかった震災時の支援の様子を知ることができ、参考になった。講師の方のお話が聴きやすくて良かった。
- ・子供が発達障害なので、震災の時の対応など、今まで聞いたことのなかった内容が聞けて参考になった。
- ・発達障害の高齢期の課題等について理解することができました。また、災害時に必要な支援等についても改めて感じました。知ってくれていることで安心して過ごせたり、必要な支援が受けられたりすると感じました。
- ・新型コロナや震災時の支援など、知っておきたい内容があって参考になりました。

- ・保護者として何ができるか？勉強になりました。
- ・専門的知識がない人から、専門知識がある人までわかりやすく関心を持てるテーマだったと思います。
- ・「障がい者の支援について」大学の講義をうけた直後に、実際のさまざまな支援を知ることができました。個人の特性によって支援方法は違うので、マニュアル化はむずかしいと思います。でも、発達障害の人にやさしい支援方法は、だれにもやさしい支援方法なのではないかなと思いました。感覚が過敏なため避難所に入れないとか、配布の列に並んでおけないとか、いくつか事例を聴くと、何の資格もない私でもお手伝いできること(代わりに並ぶとか)があるかもしれないと感じました。
- ・静かな語り口で、実際に支援している方からの講演であったので、支援される側の意見が反映されていてとても参考になった。
- ・発達障害の最近の取り組み、避難所での取り組み、認知症の気づきや検診の必要性など実践が伴っており身近に感じる頃ができた。
- ・色々な取り組みや、実際の状況などが知れて良かった。
- ・発達障害だけでなく、知的障害の部分にも説明があったので良かった
- ・私は傾聴ボランティアをしています。その上でこの度の講演は実際の様子や傾向と対策が分かりとても参考になりました。
- ・健康管理やバリアフリーの推進について、現在の社会での取り組みがよく分かり今後の活動の参考になりました。ありがとうございました。
- ・感覚の過敏さへの理解・配慮についてよく分かりました。交通機関やスーパーでの配慮が行われていることを初めて知りました。様々な不安をできるところからできる範囲で取り組みをはじめることって素敵だと思います。配慮の仕方と情報が自然な形で広まれば、発達障害の人だけでなく、全てのひとに生きやすい社会になると思いました。また、健康面のお話では、本当にその通りだと思いました。病院で受診することへの不安から健康診断で治療のお手紙を届けても避けてきている子供もいます。親御さんがつれていこうと思っても暴れて抵抗してつれて行けない状態です。過敏さと不安の表れだと教えていただいたので、対策を考えていきたいと思います。自分1人が抱え込まないで、いろいろな人を巻き込んで、仲間でサポートできるよう取り組んでみます。本日はありがとうございました。
- ・いろいろと確認してゆくべきことを改めて気づかされたような感覚もあった。親が歳を重ねてゆくことを実感する時期に入り、本人支援者の存在を不安に思うところもある。
- ・日詰先生がこれまでのご経験を通し、あらゆる垣根を超え幅広く、それぞれの持ち場で取り組んで来られた大事な内容が細やかに分かりやすくまとめられ、発達障害自閉症をよく知らない方でも、すんなり受け止められたかと思えます。進んだ所だけでなく、世界全体を視野に入れると、日本の法律は発達障害、自閉症に優しい制度であることを誇りに思っているのでは？の日詰先生のメッセージが心に響きました。世界自閉症啓発デーイベント・シンポジウム、成田空港搭乗体験ツアー、その他のセミナー研修など、親子や仲間と参加した経緯もあり、私たちの上げる声、共に歩いて来たことが新たな政策につながっているのかと思うと、感慨深いものがあります。かかりつけ医は大事などの基本的なことから、発達障害を伴いながら認知症への移行の構えは、日本は特にこれからの時代必須ですね。国立のぞみの園の先進的な調査研究の様子も知り、このような機関との連携は益々貴重かと感じました。住まい、てんかん、強度行動障害においても、早く気づいていた方が良いこと、お一人お一人へのその工夫、支援者も一人で抱え過ぎず、他の人が突破口になる可能性も再確認し「あきらめず希望を持って取り組む」姿勢を、私も大事にして、これらの内容を今後の仕事や活動に生かして行きたいと思いました。日詰先生をはじめ、今回のオンライン講演会に関わりました全ての皆さまに心より感謝を申し上げます。

- ・子供はまだ未就学児なので発達障害に対する勉強はまだ浅いものでした。ぱっと見障害があるように見えない為に、子供自身の苦しさや、親の苦勞が影に隠れて気づいてくれないような、取り残されたような気になっていました。発達障害の世の中の位置付けが、どの程度なのかなど、全く未知の世界である為不安もありましたが、厚労省やその他の機関もきちんと考えてアクションを起こしてくれている事を知ることが出来て見通しが立って少し安心しました。
- 世の中にももう少し発達障害が身近に感じられるような、啓発活動など大々的にしてもらいたいものだなと思います。コロナ禍大変だったと思いますがオンラインで参考になるお話をして頂きありがとうございました。
- ・実践に基づいた今の課題についてわかりやすく具体的にお話いただき、大変参考になりました。
- ・分かり易い講演。幅ひろい内容で良かった。
- ・まだまだわからない事だらけなのでどんな事でも聞いておきたいと思っています。ありがとうございました。
- ・「何を言いたいのか」と等、話題のまとめをその都度伝えて下さり大変わかりやすかったです。ありがとうございました。
- ・発達障害は、子供でも大人でもあり得ることで、特にこだわりは、年齢を重ねてもこだわりがなくなることはない。子供でも大人でも、こだわりをなくすのではなく、それを少しでも強みに変えて、その人らしい生き方が出来ることが大切だと感じました。
- ・自分自身、たびたび追いつめられることもありますが、ほかの人の助けも借りながら、その人が心地よく生活できるようにアプローチすることが大切です。とてもよくわかりました。ありがとうございました。
- ・序盤の自閉症の歴史や基礎知識は既知のものでしたが、後半は斬新でした。引きこもりなどについても詳しく伺えたらありがたいです。
- ・イライラコントロール、バリアフリー、行動障害、健康管理と話題がいろいろあり、関心を持って聴くことができました。それぞれに具体的にどうしているのか、などもう少し詳しく知りたくなる内容だったので、各テーマでお話を聞いてみたいと思いました。

この他にもいただきました沢山の貴重なご意見・ご感想を
これからの活動に活かしていきたいと思えます。
どうもありがとうございました。